

正倉院展講座

10月23日(土) 光明皇后と正倉院	館長 山本 信吉
10月27日(水) 香印坐における絵画表現	美術室長 梶谷 亮治
10月30日(土) 正倉院の遊戯具	遊戯史学会理事 増川 宏一
11月3日(祝) 正倉院薬物が語るもの	日中医薬研究会会長 薬学博士 渡邊 武
11月6日(土) 正倉院の漆工—銀平脱合子と鏡箱を中心としたもの	宮内庁正倉院事務所保存課整理室長 木村 法光
11月10日(水) 鳥獸花背方鏡をめぐって	考古室長 井口 喜晴

午後1時30分より、講堂で開催。午後1時開場、先着120名限り。聴講無料。

ギャラリー・トーク

12月8日(水) 快慶とその周辺	美術室研究員 磯波 恵昭
------------------	--------------

午後2時より、陳列室で開催。入館者は聴講自由。原則的に毎月第2水曜日に開催。

親と子の文化財教室

平成5年度〈飛鳥時代の文化財〉

10月9日(土) 特別講座「正倉院宝物」	工芸室長 阪田 宗彦
12月11日(土) 「飛鳥時代の絵—玉虫厨子の絵—」	美術室長 梶谷 亮治

以後、2月12日「鏡や刀に刻まれた文字」、3月12日「飛鳥時代の工芸品」を予定しています。

〈対象〉 小学生・中学生・高校生および保護者等。児童・生徒のみでも参加できます。

〈日時・場所〉 毎月第2土曜日、午前10時から12時まで。当館講堂・展示室。

〈定員〉 各回100名(先着順)。〈参加費〉 無料(入館料とも)。

〈申し込み方法〉 往復ハガキで、希望日・住所・氏名・学校学年・電話番号・同伴する保護者等の氏名を記入して申し込んで下さい。連続参加の申し込みも受け付けます。

〈申し込み先〉 奈良国立博物館 親と子の文化財教室係

八窓庵茶室の公開

八窓庵茶室は、別名を含翠亭ともいい、もと興福寺塔頭の大乘院にあったもので、明治の中頃奈良在住の篤志家数名の努力により当館に寄贈されたものです。入母屋造り茅葺きで、前面に土間庇が形成された草庵風のたたずまいを見せ、織部好みの茶室として伝えられてきました。

〈公開日〉 新館開館中の毎週木曜日(ただし雨天の場合は公開しません。)

〈公開時間〉 午前10時より午後3時まで

新館東南側の扉より誘導路に沿ってお進み下さい。

*なお、茶室の使用については、当館管理課までお問合せ下さい。

出版物の御案内

奈良国立博物館 名品図録(増補版) 平成5年8月31日発行 定価3000円

当館所蔵の彫刻・絵画・書跡・工芸・考古の名品113点をオールカラーで収録。わかりやすい解説を付しています。(館内の売店で販売しています。)

平常展 開館時間 午前9時より午後4時30分まで(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日(月曜日が祝日または振替休日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

観覧料金 每月第二土曜日は、小・中学生無料(正倉院展・共催展等を除く)。

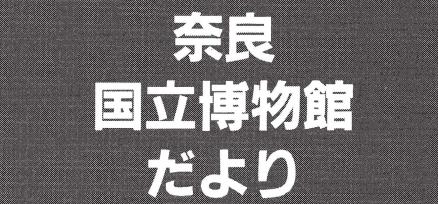
正倉院展	大人	高・大生	小・中生
一般	790	450	250
団体	530	250	130

平常展	大人	高・大生	小・中生
一般	400	130	70
団体	200	70	40

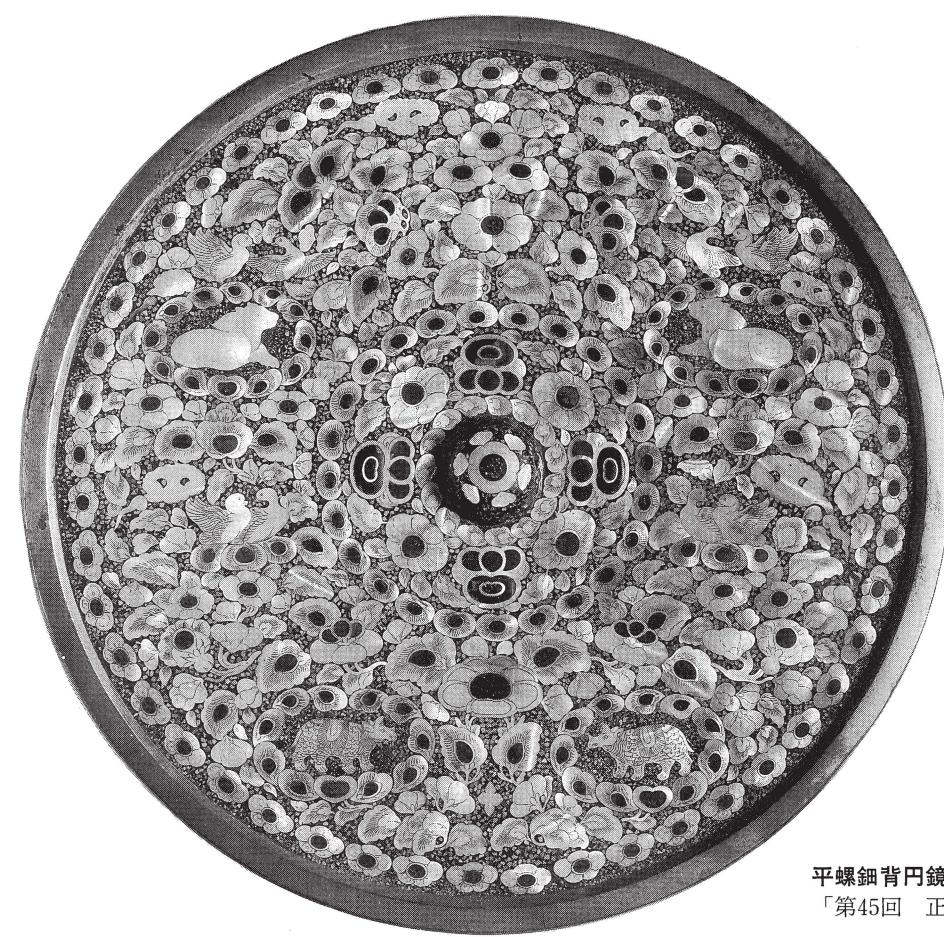
(団体は責任者が弓率する20名以上。ただし正倉院展は、土・日・祝日は団体の取扱いを致しません)。

『奈良国立博物館だより』は、1・4・7・10月の各1日に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し返信用封筒(62円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館の普及室にお申し込み下さい。

第7号



平成5年 10・11・12月



平螺鈿背円鏡

「第45回 正倉院展」より

第45回 正倉院展

10月23日(土)~11月11日(木)

会期中無休

午前9時~午後5時
(入館は4時30分まで)

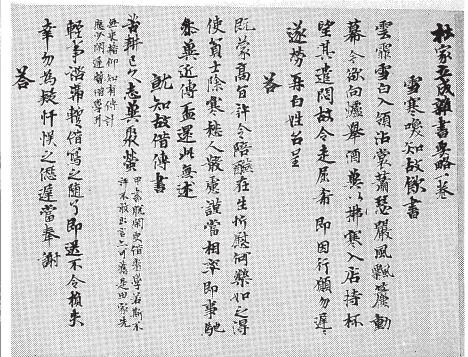
正倉院には、光明皇后が東大寺に献じた聖武天皇の遺愛の品々や、大仏開眼会をはじめとする東大寺所用のさまざまな遺品が守り伝えられている。今年は初公開の21件を含む74件が展観される。

聖武天皇の遺愛の品々は『国家珍宝帳』と呼ばれるリストを添えて大仏に献ぜられたが、「鳥毛篆書屏風」、「木画紫檀某局」、「某局龕」、

「紅牙・紺牙撥鍛葉子」などは、リスト記載の遺品であり、その洗練された意匠は、当時の宮廷生活を彷彿させる。また「杜家立成」は力強い

書風を伝える光明皇后の真筆として名高い。「平螺鈿背円鏡」、「鳥獸花背方鏡」、「斑犀把漆鞘黃金葛形珠玉莊刀子」などは、当時の優れた工芸技術を伝えるもので、華麗な彩色の施された「密陀彩絵箱」、「蘇芳地彩絵箱」、そして今回初出陳となる「漆金薄繪盤」は、工芸品としてばかりでなく絵画遺品としても貴重である。久しぶりに薬物やガラス製品もまとめて出陳されており、宝物への興味は尽きない。

主な展示品

	本館	新館			
十月	考古	彫刻	十月		
十一月	～11月19日(金) 改修工事のため休館				
十二月	11月20日(土)～12月25日(土) 奈良・田原本町出土埴輪〈◎牛形埴輪、人物埴輪、盾形埴輪、蓋形埴輪〉(田原本町教育委員会)、鶏形埴輪断片(当館)、伝茨城・東海村出土埴輪〈馬形埴輪、犬形埴輪、人物埴輪〉、船形埴輪断片、奈良・桜井市珠城山1号墳出土品(当館)、奈良・新庄町大和二塚古墳出土品(当館)、奈良・天理市星塚古墳出土品(当館)、奈良・明日香村率牛子塚古墳出土七宝金具(当館)、群馬・宮城村苗ヶ島古墓出土品(当館)、奈良市西大寺町出土陶棺(当館)、高句麗・百濟・新羅出土古瓦(当館ほか)、法隆寺・新堂廃寺・横井廃寺・平隆寺・向原寺・巨勢寺・中宮寺出土古瓦(飛鳥時代)(当館ほか)、巨勢寺・山田寺・善正寺・川原寺・紀寺・南滋賀廃寺・山村廃寺・法隆寺・慈光寺・本薬師寺・桧隈寺・河内寺・大官大寺出土古瓦〈白鳳時代〉(当館ほか)、奈良・奥山久米寺出土蓮花文鬼瓦(京都国立博物館)、奈良・山村廃寺出土蓮花文鬼瓦、和歌山・上野廃寺出土隅木蓋瓦(当館)、飛鳥寺・四天王寺・川原寺・法隆寺・藥師寺式伽藍配置模型(当館)、栗原寺伏鉢(談山神社)、奈良・山村廃寺出土石製九輪(円照寺)、奈良・定林寺出土塑像菩薩像頭部(当館)、奈良・川原寺裏山出土塑像頭部(明日香村)、滋賀・雪野寺出土塑像断片、鳳凰博(南法華寺)、多宝塔博、奈良・橘寺出土火頭形三尊博(当館)、奈良・南法華寺出土方形三尊博(南法華寺)、三重・天花寺出土博(当館)、三重・夏見廃寺出土博(当館)、奈良・石光寺出土博(石光寺)	第45回 正倉院展 10月23日(土)～11月11日(木)  杜家立成  白瑠璃高坏	10月4日(月)～10月22日(金) 陳列替のため休館		
十一月	11月20日(土)～12月25日(土) 【飛鳥時代】 ◎銅造誕生釈迦仏像(正眼寺)、◎銅造弥勒菩薩半跏像(神野寺)、◎銅造觀音菩薩立像(法起寺) 【白鳳時代】 ◎銅造觀音菩薩立像(金剛寺)、◎木造勢至菩薩立像(法隆寺)、◎銅造誕生釈迦仏像(悟真寺)、◎銅板法華說相圖(長谷寺)、◎木造菩薩立像(金剛寺)、銅造觀音菩薩立像(當館) 【奈良時代】 ◎乾漆十大弟子像のうち舍利弗・日犍連像(興福寺)、◎乾漆八部衆像のうち緊那羅像(興福寺)、◎銅造弥勒菩薩半跏像(東大寺)、◎銅造藥師如來坐像(當館)、◎乾漆金剛力士立像(當館)、◎木心乾漆義淵僧正坐像(岡寺)、◎伎樂面(東大寺) 【平安時代】 ◎木心乾漆阿闍梨如來坐像(西大寺)、◎木造藥師如來立像(元興寺)、◎木造藥師如來坐像(當館)、◎木造十一面觀音立像(海住山寺)、◎木造十一面觀音立像(地福寺)、◎木造千手觀音立像(園城寺)、◎木造十二神將立像(東大寺)、◎木造板彌十二神將像(興福寺)、◎木造如意輪觀音坐像(當館)、◎木造不動明王坐像(園城寺)、木造五大明王坐像(當館)、◎木造金剛力士立像(財寶寺)、◎舞樂面(手向山神社・東大寺) 【鎌倉時代】 ◎木造法相六祖像のうち行賀像(興福寺)、◎木造增長天立像(當館)、◎木造多聞天立像(稱名寺) 【菩薩】 ◎木造弥勒菩薩坐像(藥師寺)、◎木造准胝觀音立像(常盤山文庫)、◎木造童猛菩薩立像(金剛峯寺)、◎木造明星菩薩立像(弘仁寺) 【明王】 銅造不動明王立像(當館)、木造愛染明王坐像(當館)、銅造阿彌陀如來坐像(善光寺)、◎木造地藏菩薩立像(春寛寺)、◎銅造阿彌陀如來坐像(春寛寺)、◎木造馬頭觀音立像(淨瑠璃寺)、◎銅造藏王權現像(大峰山寺)、◎行道面(淨土寺)	彫刻 11月27日(土)～12月25日(土) 【如来】 ◎銅造灌仏盤・誕生釈迦仏立像(東大寺)、◎銅造藥師如來立像(般若寺)、◎銅造阿彌陀三尊像(東京国立博物館)、◎木造阿彌陀如來坐像、◎木造阿彌陀如來坐像(安楽寿院)、◎木造藥師如來立像(稱名寺) 【菩薩】 ◎木造弥勒菩薩坐像(藥師寺)、◎木造准胝觀音立像(常盤山文庫)、◎木造童猛菩薩立像(金剛峯寺)、◎木造明星菩薩立像(弘仁寺) 【明王】 銅造不動明王立像(當館)、木造愛染明王坐像(當館)、銅造軍荼利明王立像(園城寺) 【天】 木造毘沙門天立像(當館)、◎木造增長天立像(稱名寺)、◎木造大黑天立像(興福寺)、◎木造大將軍神像(大將軍八神社)	絵画 11月27日(土)～12月25日(土) ◎仏涅槃図(達磨寺)、◎十六觀相図(阿彌陀寺)、◎普賢菩薩像(當館)、◎白衣觀音像(當館)、◎千手觀音像(當館)、◎木造阿彌陀如來坐像、◎木造阿彌陀如來坐像(安樂寿院)、◎木造藥師如來立像(稱名寺) 【菩薩】 ◎木造弥勒菩薩坐像(藥師寺)、◎木造准胝觀音立像(常盤山文庫)、◎木造童猛菩薩立像(金剛峯寺)、◎木造明星菩薩立像(弘仁寺) 【明王】 銅造不動明王立像(當館)、木造愛染明王坐像(當館)、銅造軍荼利明王立像(園城寺) 【天】 木造毘沙門天立像(當館)、◎木造增長天立像(稱名寺)、◎木造大黑天立像(興福寺)、◎木造大將軍神像(大將軍八神社)	書跡 11月27日(土)～12月25日(土) とげでんしょのびょうぶ はくせきばん へいらでんはいのえんきょう ぎんへいだつのかがみばこ ちよじゅうかはいのほ 鳥毛篆書屏風、白石板、平螺鈿背鏡、銀平脱鏡箱、鳥獸花背方 鏡、漆皮鏡箱、新羅琴、新羅琴櫃、檜和琴、木画紫檀棊局、棊局 鏡、漆皮鏡箱、新羅琴、新羅琴櫃、檜和琴、木画紫檀棊局、棊局 鏡、紅牙撥鏹棋子、白棋子、黑棋子、銀平脱合子 籠、紅牙撥鏹棋子、白棋子、黑棋子、銀平脱合子 杜家立成、色麻紙、延暦六年曝涼使解、種々葉帳、白龍骨、白龍 骨袋、厚朴、厚朴袋、治葛、治葛壺、甘草、甘草裹、芫花、芫花 袋、人參、人參袋、腐密袋、丹、犀角杯、小香袋、彩繪水 鳥形、撥鏹飛鳥形、斑犀把漆玉莊刀子、紫絶袍、黃 牙彩繪把紫牙撥鏹鞘金銀莊刀子、黃布袍、紫地錦几縷、白綾襪、 絞綸絕殘片、白綾盒、白瑠璃高坏、雜色瑠璃、雜色瑠璃、 牙、露珠、碧瑠璃、瑠璃玉原料、瑪瑙坏、水精玉、漆小櫃、漆 小几、磁皿、密陀彩繪箱、蘇芳地彩繪箱、漆金薄繪盤、山背國愛 宕郡鄉里未詳計帳、出雲國計會帳、造仏所作物帳、造東大寺司牒 ほか、宇治使解ほか、光明經卷第四、如意興願經卷第一、一切 智光明仙人慈心因緣不食肉經	工芸 11月27日(土)～12月25日(土) ●鉄宝塔(西大寺)、金銅火焰宝珠形舍利容器、●黒漆舍利厨子(般若寺)、銅宝篋印塔(当館)、●金銅透影迦陵頻伽文華臺(中尊寺)、●金銅種子華鬘(兵主大社)、●鑄銅三具足(聖衆來迎寺)、●金銅宝珠鉢、●金銀鍍宝相華文透影花籠(神照寺)、●金銅透影經筒(万德寺)、●線刻阿彌陀如來鏡像(当館)、●銅鈸鼓(手向山神社)、●黒漆金銅裝戒体箱(金剛寺)、●金銅蓮華形磬(赤松院)、●木製彩色華鬘(靈山寺)、●紙胎彩色華籠(万德寺)、●黒漆螺鈿卓(東大寺)、●金銅四大明王五鉢鉢(当館)、●線刻男神鏡像(当館)、●十一面觀音懸仏(当館)、●金銅春日神鹿御正体